



2021年  
7月7日  
No.A21-03

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2021年6月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップ・ミーティング

・6月30日(水)、橋本 聖子 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長「東京2020大会に向けて」(於:オークラ東京)



#### <要旨>

講師より、東京2020大会開催に向けて組織委員会が取り組んできた感染症対策(3つの徹底)、ジェンダー平等/多様性と調和の推進への取り組み、そこから「東京モデル」を構築し継承していく意気込みについて説明がなされた。

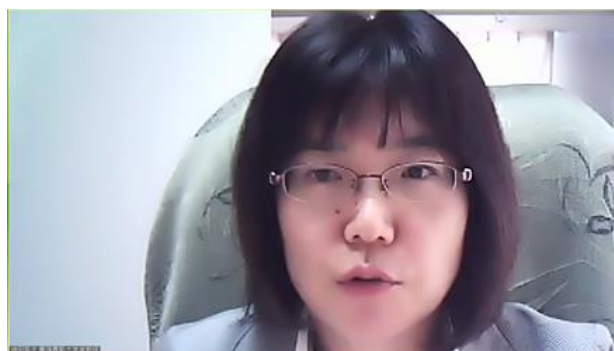
#### (2) 中東情勢オンライン講演会

・6月7日(月)、錦田 愛子 慶應義塾大学法学部政治学科准教授「緊迫するイスラエル・パレスチナ——ユダヤ・アラブ衝突の激化の背景」(Zoom形式)

#### <要旨>

講師より、今年5月からのイスラエル・パレスチナ間の緊張の高まりと、その背景にあるエルサレムでの立ち退き問題等をめぐる対立、ガ

ザ情勢、民衆レベルでのユダヤ右派とイスラエル・アラブの間の衝突の激化、イスラエルの新内閣について説明がなされた。質疑では、ベネット新内閣の政策方針や「世紀の取引」の併合案の現状、「一国家論」の現実性等について多数の質問が出た。



・6月22日(火)、岡田 隆 駐アフガニスタン特命全権大使「アフガニスタン和平の可能性」(Zoom形式)



#### <要旨>

講師より、アフガニスタンでタリバーンが誕生した背景や2006年頃からの復活について概

説があった後、2020年の米・タリバーン合意（ドーハ合意）や米軍撤退後の治安情勢の展望について説明がなされた。質疑では、今後の和平プロセスの見通し、DDR（元兵士の武装解除・動員解除・社会復帰）の影響、日本のアフガン支援についてなど、多数の質問が出た。

(3) 中東情勢分析：駐日中東大使に聞く

・6月8日、「中東情勢分析：駐日中東大使に聞く」（第6回、シャイダ・モハメド・アブダリ駐日アフガニスタン大使閣下）を発行いたしました。本年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大によって、対面での講演会実施が困難な状況が続いています。そこで中東諸国の大使に、書面インタビューの形式で各国の内外政の状況についてお答えいただくこととなりました。是非お手に取ってご覧ください。※会員の方は無料でご覧いただけます。非会員の方もご購入いただくことが可能です（税込み1100円）。詳細はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/140.html>)

## 2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2021年6月号（2021年7月7日付）
- 1. イスラエル：ベネット連立政権の成立
- 2. イラン：第13期大統領選挙でのライシー氏の当選とその影響
- 3. アフガニスタン：元軍閥の再武装化が進行
- 4. トルコ：イスタンブール・カナル・プロジェクト関連工事着工
- 5. GCC：COVID-19感染状況とワクチン接種
- 6. チュニジア：新型コロナウイルス感染拡大の第4波、死者増加

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

(2) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- ・No.3「新たな展開を見せたパレスチナ情勢—変わるか、紛争の構図—」（6月16日）
- ・No.4「サウジアラビアの地域外交における諸課題—ウラー宣言とバイデン米政権誕生を経て—」（6月22日）

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/report/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/))

(3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- ・No.3「サヘル地域のイスラーム過激派：フランスのバルカン作戦終了発表への反応」（6月30日）

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/monitor/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/))

(4) 中東かわら版の発行

- No.27「イスラエル：イエシュ・アティド党とヤミーナ党を中心に連立合意」（上席研究員 金谷美紗、6月3日）
- No.28「イスラエル：ベネット内閣の成立」（上席研究員 金谷美紗、6月15日）
- No.29「ヨルダン：ハムザ王子関係者逮捕と「世紀の取引」の関係」（上席研究員 金谷美紗、6月15日）
- No.30「イラン：第13期大統領選挙実施前の国内動向」（研究員 青木健太、6月16日）
- No.31「アルジェリア：前倒し下院選挙の暫定結果」（研究員 高橋雅英、6月16日）
- No.32「トルコ：NATO首脳会議でバイデン米大統領と初の直接会談」（研究員 金子真夕、6月17日）
- No.33「イラン：過去最低の投票率でライシー候補が勝利」（研究員 青木健太、6月21日）
- No.34「サウジアラビア：イラン大統領選挙の結果への反応」（研究員 高尾賢一郎、6月23日）

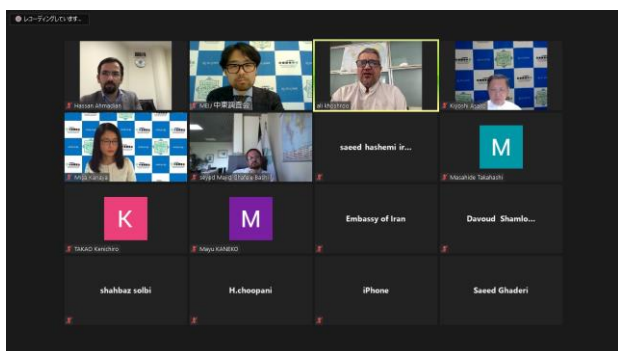
No.35「リビア：リビアに関する第2回ベルリン  
会合」(研究員 高橋雅英、6月24日)  
(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(5) その他の活動

・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく A/国際社会と地域 1」へ  
当会研究員がオンライン出講した。

- ① 「中東の民主体制、権威主義体制の特徴：中東諸国の政治体制 (2)」(上席研究員 金谷美紗、6月2日)
- ② 「中東のなかのイラン、その政治と安全保障」(研究員 青木健太、6月9日)
- ③ 「政治学に基づいて読み解くイラン核合意と米国・イラン対立」(研究員 青木健太、6月16日)
- ④ 「マグリブ諸国の近現代史：半植民地闘争と国家建設」(研究員 高橋雅英、6月23日)
- ⑤ 「世俗主義とはなにか。トルコはなぜ世俗主義を目指したのか：世俗主義国家トルコの成り立ち (1)」(研究員 金子真夕、6月30日)

・2021年6月1日(火)、中東調査会はイラン政治・国際問題研究所 (IPIS) と共催で第1回ラウンドテーブル・ディスカッションをオンライン実施した。同イベントでは、日本・イラン両国の研究者間で、中東地域情勢、及び、国際情勢に関する活発な意見交換が行われた。



**3. その他**

(1) 要人往来

- ・7日、茂木外相はエジプトのシュクリ外相と電話会談した。
- ・11~13日、菅首相はG7コーンウォール・サミットに出席した。
- ・14日、菅首相はイスラエルのベネット新首相宛てに祝意を表す書簡を発出した。
- ・14日、茂木外相はイスラエルのラピード新首相代理兼外務大臣宛てに祝意を表す書簡を発出した。

(2) 外務省人事

- ・6月22日(火) 発令  
外務事務次官 森健良  
外務審議官 山田重夫  
総合外交政策局長 岡野正敬  
国際法局長 鯨博行  
儀典長兼東京五輪・パラリンピック競技大会  
担当大使 志野光子

**4. 7月の予定**

- ・7月2日(金)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(上村 司 アラブ地域担当大使「いま中東で起きている事」)**\*法人会員限定**
- ・7月5日(月) 14:00~15:30、第22回中東情勢分析発表会(研究員 青木 健太・高尾 賢一郎「バイデン政権の対中東政策と安全保障への影響」)(Zoom形式)

※いずれも終了。この他にもイベントを開催することがございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

**5. 出版物刊行のご案内**

- ・5月31日、『中東研究』第541号(2021年

度 Vol. I、定価：本体 2000 円＋税）が発行されました。本号では「イスラエル・アラブ諸国の関係正常化」と題する特集を組み、2020 年に次々に合意されたイスラエルとアラブ諸国の関係正常化やこれに反対したパレスチナの状況、そして関係正常化が進む中東地域情勢の全体図について分析された論文を掲載しました。是非お手に取ってご覧ください。

※詳細はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/publication/chutoukenkyu>)

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要な ID とパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。